

## 3日 日曜

### 詩篇



<44> 指揮者のために。コラ人による。マスキール。

44:1 神よ私たちはこの耳で聞きました。先祖たちが語ってくれました。あなたが彼らの時代昔になさったみわぎを。

44:2 あなたは御手をもって異邦の民を追い払いそこに先祖たちを植えられました。もろもろの国民にわざわざを下しそこに先祖たちを送り込まれました。

44:3 自分の剣によって彼らは地を得たのではなく自分の腕が彼らを救ったのでもありません。ただあなたの右の手あなたの御腕あなたの御顔の光がそうしたので。あなたが彼ら愛されたからです。

44:4 神よあなたこそ私の王です。ヤコブの勝利を命じてください。

44:5 あなたによって私たちは敵を押し返し御名によって向かい立つ子どもを踏みつけます。

44:6 私の弓に私は頼りません。私の剣も私を救いません。

44:7 しかしあなたは私たちを敵から救い私たちを憎む子どもを辱められます。

44:8 神にあつて私たちはいつも誇ります。あなたの御名をとこしえにほめたたえます。セラ

苦しみの中で主の解決を求めています。その拠り所は何でしょうか。それは「先祖たち」に恵と解決をくださった主であるということです。その主に信頼しようとしています。

このように過去の証しや主のみわぎを知ること、また思い起こすことは大切です。日々主に感謝できる人は、苦難にも強いのです。

また共同体に働かれた主のみわぎはみな財産です。みなで感謝するなら、私たちの信仰は益々強められます。ですから主への感謝をささげつつ、そのみわぎを証しをしましょう。1人の内にとどめておくことは御心ではありません。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあつて何を実践しますか？

